

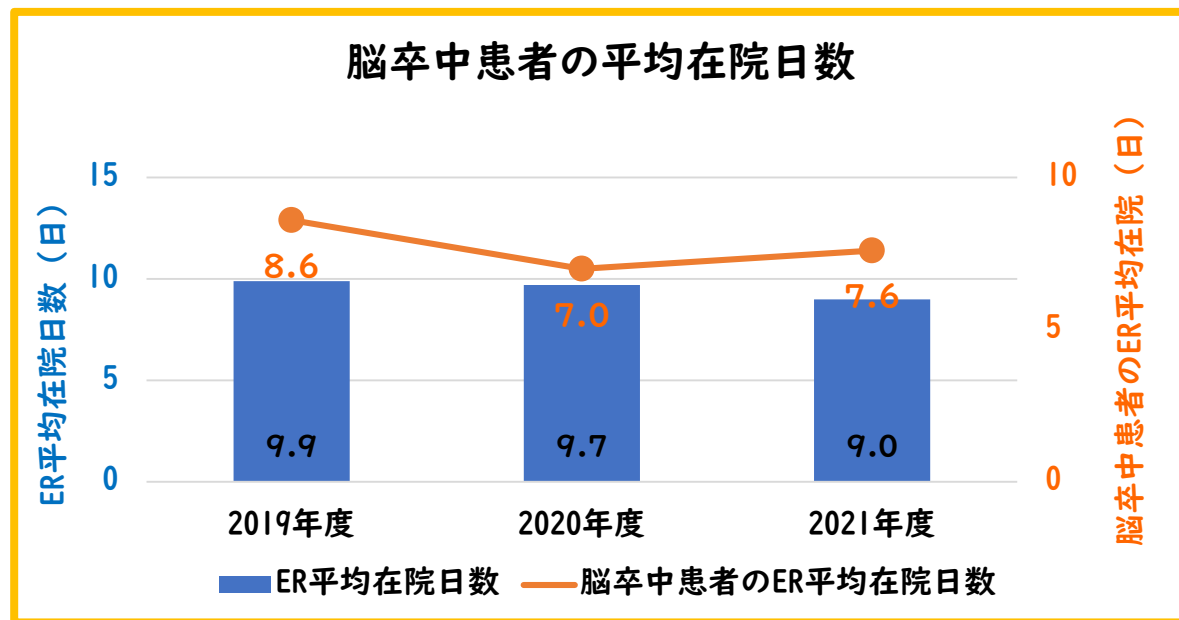
31 脳卒中患者の平均在院日数

高度救命救急センター

◆解説◆

急性期脳卒中患者のほぼ全例が高度救命救急センターに入院しています。急性期脳卒中患者さんの多くは、標準化された治療管理により、センター在院日数は短縮され、転棟・転院・退院など場所を変え治療が継続されていきます。平均在院日数の短縮は、標準的な診療が適切に行われているかどうかを表現する間接的な指標と考えます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

高度救命救急センターの使命として、24時間新規の患者さんに対応できる必要があります。そのために、在院日数を短縮することが不可欠となります。

脳卒中の患者さんは高度救命救急センターのなかで比較的入院割合の高い疾患ですが、平均在院日数は1週間以内となっています（左のグラフには当院ER入院患者の平均在院日数も表示しています）。

引き続き、脳卒中患者さんの入院期間の短縮に取り組みます。入院期間が長くなった個々の患者さんにおいては、課題を抽出し更なる改善を図ります。

◆定義◆

高度救命救急センター入院した患者の平均在院日数と脳卒中患者の平均在院日数